

タイトル…『ファニーたい焼きトム18 マ
トンカレー』

第一幕：発案・調理

（開店前の店内。トムがキッチンで何やら真剣な顔をしている）

トム…「魚住！今日はすごいぞ！歴史が変わる日だ！ついに、たい焼きの新時代を切り開く革命的アイデアを思いついた！」

魚住…「またですか…。ええと、今度は何を…？」

トム…「ジャジャーン！マトンカレーたい焼きだ！！」

魚住…「マトンカレー！？それって…あの、羊肉のカレーですか？」

トム…「イエス！スパイシーでジューシー！香り立つクミンとカルダモン！濃厚なヨーグルトと煮込まれたマトン！そして、それをたい焼きに詰めちゃうんだ！」

魚住…「いや、普通にナンとかライスで食べたほうが…」

トム…「ノンノンノン！このたい焼きの生地のみと、マトンカレーのkokoroが合わさることで、新たなウマ味が誕生する！まさにフュージョン！食の異文化交流！」

魚住…「ほんとに大丈夫なんですかね…」

（トム、鍋にスパイスを投入。ジュワツと香ばしい音が響き、店内に強烈なスパイスの香りが充滿）

魚住…「ちよつと！鼻にツンときますよ！」

トム…「これがマトンカレーの魅力さ！ほら、ちよつと味見してみろよ！」

（魚住、恐る恐るスプーンを口に運ぶ）

魚住…「……！スパイスが爆発！でも…後からじんわりくるマトンのコク…なにこれ、クセになる…！」

トム…よし！決まりだ！さっそく焼くぞ！

＝

第二幕：開店・お客たちのリアクション（飯テロ描写強化）

（店が開店し、最初の客が入ってくる）

田中（常連のサラリーマン）…「おはようございます。今日は何があります？」

魚住…「本日は新作のマトンカレーたい焼きです！」

田中…「たい焼きにカレー？それもマトン？…よし、試してみよう！」

（田中が一口かじると、中から熱々のマトンカレーがとろりと流れ出る。スパイスの香りが鼻を抜け、マトンの濃厚な旨み広がる）

田中…「…っっっ！なんだこれ！スパイスが鋭く立ち上がって、そこにマトンの肉汁が絡む…！たい焼きの皮の香ばしさが、カレーのコクと溶け合って…うまい！！」

（次々とお客が試す）

女子高生…「うわっ！思ったより辛いくけどクセになる！映える！」

OL：「これは…もはやスイーツとカレーの融合…新しい！」

（中年男性が慎重にかじる）

中年男性…「ほう…！最初はスパイスの強烈な刺激…だがその後、じんわりと広

がるマトンの旨みと生地の甘さが：これはクセになる！」

（店の前には行列ができる。インフルエンサーが動画を撮影し、SNSに投稿する。どんどん拡散される）

インフルエンサー…「これはエグい！マトンカレーの旨みが口いっぱい広がる！スパイスの香りがガツンときて、最後に甘さがフワツと…これはリピート確定！」

第三幕：SNSで話題に・レポーターの取材

（SNSで話題となり、レポーターが取材に来る）

レポーター…「都内で話題の：マトンカレー
ーたい焼き：！これは一体どんな味なの
か！？」

（レポーターが試食し、リアクションを
大きさに）

レポーター…「おおっ！この刺激！そして
後からくるまろやかなコク！まさに異
国の味わいがたい焼きに詰め込まれてい
る！」

（テレビ中継が入り、さらに注目される）

（SNSのコメントが次々と流れる）

SNS コメント：「食べてみたい！」「マ
トンの香りがすごいらしい」「辛さの中
に甘みがあるらしい」「リピ確定！」

（行列がさらに長くなる）

第四幕：隣町のたい焼き屋の 店主がスパイとして来店

（ライバル店の店主が来店）

ライバル店主…「くせのあるマトンカレーをたい焼きにするなんて、常識破りだ…！真似できない…！」

トム…「なんだと？真似するつもりだったのか？」

ライバル店主…「練習すればできると思ってたが…！」

トム…「よく味わってみろ！」

（ライバル店主、渋々たい焼きをかじる）

ライバル店主…「……くっ……なんだこれは…くせになる…！ちくしょう、認めたくないが美味しい！」

魚住…「やっぱり、たい焼きトムの勝ちですね！」

（ライバル店主、肩を落として帰る）

エピローグ：閉店後

（閉店後、余ったマトンカレーを食べる

トムと魚住）

トム…「うーん、ちょっとマトンが臭うなあ…」

魚住…「今さら！？この匂いに耐えられなかったら最初からやらないでください！」

（トム、笑いながらカレーを頬張る。魚住が呆れながらも一緒に食べ、幕が閉じる）

【終】

• 第一幕（発案・調理） ↓ 約 15～20 分

• トムの奇抜なアイデア

• 魚住との掛け合い

• 試作シーン

• 第二幕（開店・お客のリアクション）

↓ 約 25～30 分

• お客の試食リアクションを飯テ

ロ的に詳細描写

• インフルエンサーが SNS で拡散し、

人気爆発

• 第三幕（SNS で話題・レポーター取材）

↓ 約 15～20 分

• テレビ取材・レポーターの大使

さなリアクション

• SNS の拡散・反響

• 第四幕（ライバル店主がスパイ来店）

↓ 約 15～20 分

- ライバル店主とのコミカルな掛け合い

- 試食・驚愕・敗北宣言

- エピローグ（閉店後） ↓ 約5〜10分

- 余ったマトンカレーを食べながら

らの締め